質　　疑

発言者　　太　田　安由美

発　言　の　要　旨（その１）
１　有機フッ素化合物（ＰＦＡＳ）について
(1) 2023年度の本市における水質調査の詳細と、ＰＦＯＳ及びＰＦＯＡの検出状況
(2) 2024年度の水質調査の実施予定
(3) 本市において、ＰＦＡＳ等の化学物質から飲み水を守るために、どのような取組が行われているのか。
(4) ＰＦＯＳ及びＰＦＯＡを含んだ泡消火薬剤を使用した泡消火器具の、市消防団や消防局での使用実績
(5) ＰＦＡＳについての見解と、今後の対策
２　指定管理者制度について
(1) 指定管理者の収支報告書等を、今後ＨＰ等で公表する考え
(2) コロナ禍の2021年以降、指定管理者の募集に際し、応募がゼロだったことはあるのか。
(3) 物価高騰が指定管理者に与えている影響と、その対応
(4) 指定管理者選定委員会について、委員の固定化を改め、施設ごとに専門的知識を持った委員を採用する考え
(5) 選定委員会での選定に関する情報を積極的に公開し、さらに透明性を確保する考え
３　疾病を抱える職員の働き方について
(1) 会計年度任用職員が、がんや指定難病など長期に治療を要する場合の休暇制度と、治療を理由に雇用延長や採用を行わなかった事例の有無
(2) 疾病を抱えて働く職員の、職場での理解と働き方に対する考え
４　災害対応について
(1) 個別避難計画の活用について、実効性あるものとするため、どのような課題があるのか。

発　言　の　要　旨（その２）
(2) 障害者や高齢者が避難を諦めないため、課題に対して、今後どのように取り組むのか。
(3) 本市が協定を締結している福祉避難所において、どのような運用を行うこととしているのか。
(4) 避難所における、テントや段ボールベッドなどの備蓄計画を見直す考え
(5) 避難所運営マニュアルの策定状況
(6) ペット同行避難のルールづくりを、どのように支援していくのか。
(7) 令和６年能登半島地震を受けて、職員の参集不能率を改めて見直す考え